

第 3351 回例会 (令和 4 年 4 月 20 日・水)

今週のプログラム

4 月 20 日 (水) 会員スピーチ

「出雲焼あれこれ」

なごわか すみえもん
出雲焼楽山窯 代表 長岡 住右衛門氏

次週のプログラム

5 月 11 日 (水) 会員スピーチ

「囲碁のススメ」

ながのまさひさ
医療法人 佼真会 岡本整形外科医院 院長 長野真久氏

2022年4月～5月の予定

- 4 月 24 日 (日) 2022-23年度 地区協議会
10:30～17:15
音楽文化ホール・ベルフォーレ津山
- ※ 4 月 27 日 (水) 松江クラブ定款による休会
4 月 27 日 (水) 松江ヤングリーダーズロータリー
衛星クラブ発足を祝う例会
18:30～20:00 (予定)
ホテル一畑 松
- ※ 5 月 4 日 (水) 祝日 例会なし
5 月 11 日 (水) 定例理事会
5 月 23 日 (月) 松江4クラブ現・次期会長幹事会
松江エクセルホテル東急2F オーク
18:30～
- 5 月 27 日 (金) 新旧クラブ協議会
18:30～19:20
会議 ラマージュ
19:20～20:30
懇親会 松

●例会変更のお知らせ

月 日	クラブ名	受付場所
4 月 25 日 (月)	松 江 南	松江エクセルホテル東急
4 月 28 日 (木)	松 江 東	ホテル一畑
5 月 2 日 (月)	松 江 南	松江エクセルホテル東急
5 月 9 日 (月)	松 江 南	松江エクセルホテル東急
5 月 10 日 (火)	松江しんじ湖	すいてんかく

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため状況により急遽変更 (ビジター受付なし) もございますので事前に事務局へ確認願います。

第3350回例会記録

令和 4 年 4 月 13 日 (水・晴れ)

	会員数 (人)	出席者数 (人)	欠席者数 (人)	出席率 (%) (出席免除会員含む)	前々回補正 (%) (出席免除会員含む)
松江クラブ	62	35	27	64.81	88.89
衛星クラブ	10	4	6	40.00	-

ビ ジ ター : なし

メーキャップ : 飯盛、内田、内海、川上、菅野、艸葉、佐々木、庄谷、角、高梨、津久井、友塚
西村、服部、福田、堀江 (オンライン)、井上、長岡 (理事会)

会 務 報 告

小林会長

- 本日のスピーチは会員スピーチ
(株) エブリプラン 代表取締役 ごうばらはちろう 河原八郎会員
- 衛星クラブ会員4名紹介 (勝谷有史会員、仙田利夫会員、片寄洋子会員、大谷聡介会員)
- 退会会員のお知らせ
住友生命保険 (相) 松江支社長 木田裕康会員
大和証券 (株) 松江支店長 沖本雅春会員
日本航空 (株) 山陰支社長 澤山英治会員
の3名の方は転勤の為3月末をもって退会。
後任の方については手続きを進めております。
- 友末誠夫ガバナーエレクトより森岡隆行会員に委嘱状お渡し
2022-23年度 地区職業奉仕委員会 委員

佐藤尚士会長エレクト

- 2022-23年度理事役員委員会構成表配付
7月からスタートします。ご協力お願い致します。

景山幹事

- 先週、新入会員入会選挙の文書を皆様に送りました。3名とも異議申し立てはございませんでしたので事後の手続きに入らせて頂きます。
- 本日、ご関係の皆様へ新旧クラブ協議会のご案内を配付しました。
5月27日 (金) ホテル一畑 18:30～20:30
18:30～19:20 会議 ラマージュ
19:20～20:30 懇親会 松
5月6日までに事務局まで出欠をお知らせ下さい。

委員会報告

- 親睦・出席委員会
出席報告
谷口正人委員長
- 公共イメージ委員会
ロータリーの友4月号の紹介
川内孝治委員長

プログラム

「島根発のテクノロジーが世界を変える」
—高齢者先進県から認知症への挑戦—

(株) エブリプラン 代表取締役 河原八郎氏 ごうばらちろう

ニコニコ箱

42,000 円

小林、佐藤、今井、大野、景山、後藤、信太、谷口博、原田、矢野（河原会員のスピーチを楽しみにしています。）
槇戸、小村、矢野、田中、永通、大居、伊原（結婚月）
原田、藤原、服部（誕生月）
舟越（入会月）

ベストメッセージ賞：該当者なし
司会 木村俊一郎会場監督

ひとこと
随想

松江の歓楽街の歴史調査報告 PART 1



川内 孝治

ホテル一畑の社長就任時にOBの方々から庭にある由緒ある大灯籠を知っているか？と聞かれ社内で由緒を確認すると尋ねた連中は由緒ある灯籠という事は知っているが誰も詳しい事は知らない！？

それではその由緒を調べようと調査に乗り出した時の最初の頃の松江の歴史から順次ご紹介致します。

1：松江の歓楽地のうつろい

昔、松江の歓楽地は東山市成（楽山付近）の一带にありました。その発祥は六代藩主松平ムネノブの時代である。ムネノブは自らが同地に創建した推恵神社祭神（日御碕検校小野尊俊）の霊をなぐさめる為、楽山に芝居小屋、富場、茶屋、貸席などを設け、楽人や芸人を招いては慣例的の興行を催させた。これがのちに定着、芝居小屋は「常打ち」となり仮小屋での寄席から見世物、草相撲などまで連日行われて多くの客足を誘った。特に祭礼の日は武士、町人の人波で埋め尽くしたという。

この歓楽地の賑わいも明治に入るとやがて消滅する事になる。明治10年、県は劇場諸興行条例を

定め、芝居、相撲その他諸興行場として2ヶ所に限定し、この他においては諸興行を一切禁止すると示達した。

2ヶ所とは橋南の白濁天満宮裏と橋北の中原で中原には浄瑠璃、浮かれ節（三味線に合わせて唄う俗歌）の恵比寿座が出来た。しかし明治14年中原は北堀に変更され前山陰合銀北堀支店あたりに常打ちの朝日座が建ち、大阪歌舞伎がしばしば上演された。14年以降この他の小屋に母衣町の日の出座、人參方の改良座、中原の恵比寿座、茶町の末広座があり、伊勢宮には千鳥座と歌舞伎などの永楽座が開場したが永楽座は明治26年の大洪水で壊れ、天神裏に移って永徳座と改称した。

天神裏には軍談物で有名な梅楽があったが、この辺りには青柳、鳴玉など著名な料亭もあり付近にはスケベ男の遊び場所も密集し、歓楽境を形成していた。だが、この地も大正末期から昭和の初年にかけて衰微し、芝居小屋などは松江駅通りの改修に伴い万代町、寺町の方へ移って行った。

調査報告の第一回はここまで。

次回をお楽しみに！！

（百貨店）